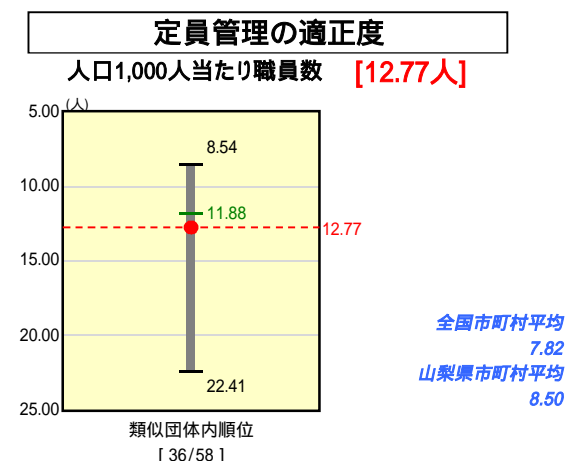
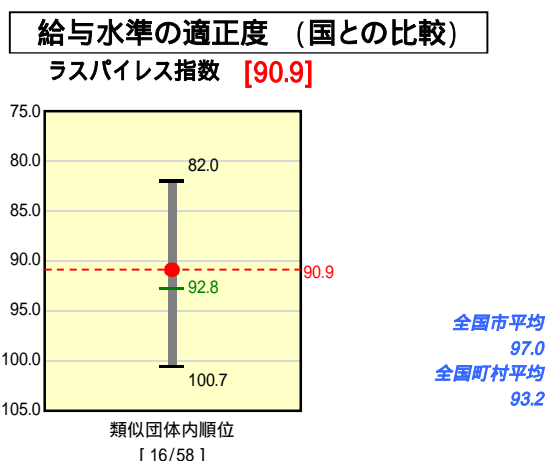
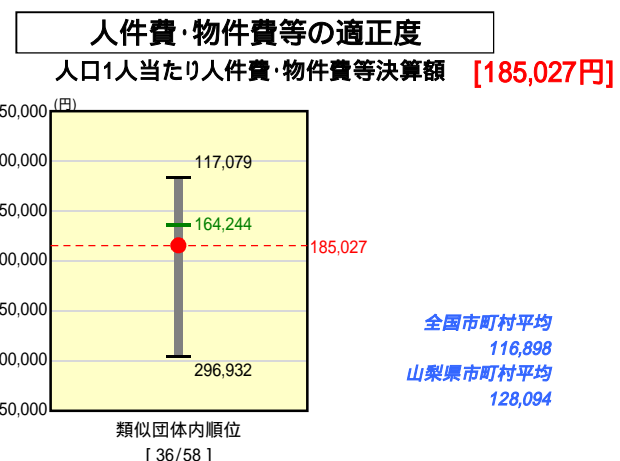
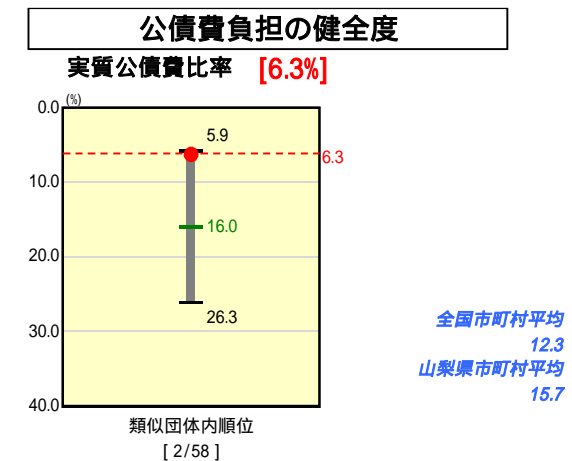
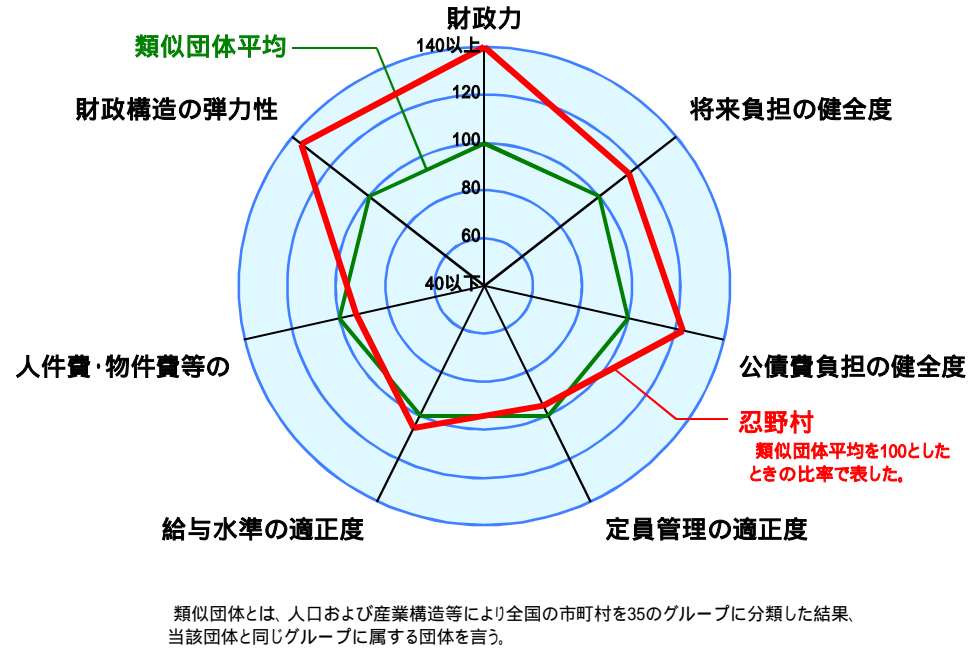
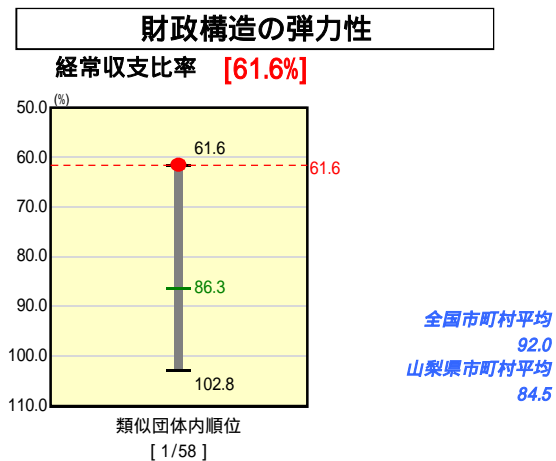
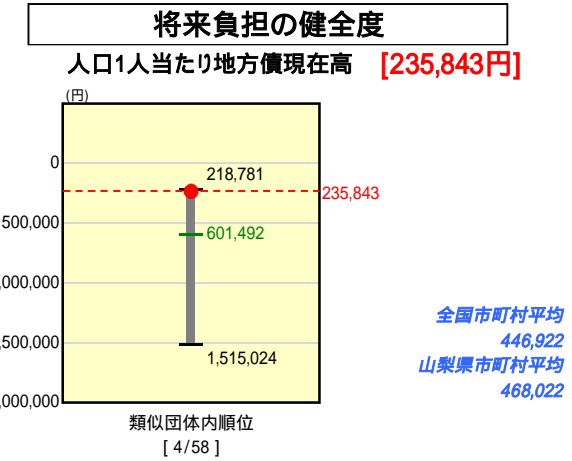
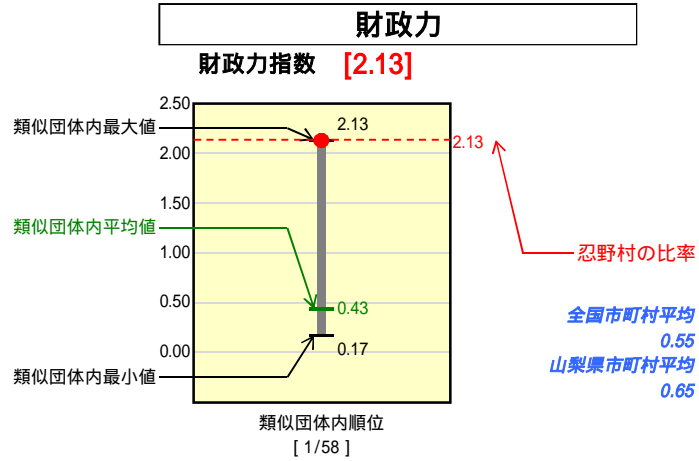


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

山梨県 忍野村

人口	8,771 人(H20.3.31現在)
面積	25.15 km ²
歳入総額	5,082,372 千円
歳出総額	4,825,240 千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数：ここ数年間、特定法人の法人村民税に依存した歳入状況により類似団体を上回ったが、今後景気低迷により減収が予想されるが、歳出削減・定員管理・地方税の徴収強化等の取組みを通じて財政基盤の強化に努める。

経常収支比率：平成16年度から公債費の削減を図っている事により類似団体最小値になっているが、社会福祉関係費等の増加により、比率は悪化した。「集中改革プラン」に掲げた人件費等の削減など行政改革への取組みを通じ、義務的経費の削減に努め、現在の水準を維持出来るようにする。

ラスパイレズ指数：給与体系の見直しが遅れ、類似団体平均を1.9下回り、全国町村平均をも2.3下回っている。今後、給与の適正化に努め、類似団体平均の水準に近づけるよう努める。

実質公債費比率：ここ数年の起債抑制策により類似団体平均を下回っている。今後とも、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

人口1人当たり地方債現在高：近年大規模事業が少なかった為、現在のところ類似団体平均を下回っているが、今後、杓子山南麓開発事業・忍野図書館建設事業等を実施するに当たり新規の地方債発行が見込まれる。この事から他事業における地方債発行の抑制等により類似団体を上回る事のないよう努める。

人口1,000人当たり職員数：平成13年度から平成14年度にかけて、行政需要の急速な増加に対応する為、職員を採用(2年間で6人)したことにより、類似団体を上回っている。定員適正化計画に基づき定年退職者の不補充等により、平成21年度までに職員数を5%削減する。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額：類似団体平均を上回っているのは、さかな公園・四季の杜おしの公園などの施設運営を直営で行っている事が主な要因である。今後は、民間でも実施可能な部分については、指定管理者制度などの導入などにより委託化を進め、コストの低減を図っていく。